

# 三崎地区

三崎地区学校運営合同協議会事務局  
令和2年12月24日発行 第2号

みさき小 Tel 88-2019  
三崎中 Tel 88-2423

## コミュニティ・スクールだより

～ ふるさとの未来を支える三崎っ子 ～

### 第2回 三崎地区学校運営合同協議会 開催

8月19日(水)みさき小学校にて、第2回三崎地区学校運営合同協議会が開催されました。

はじめに、小中別に学校運営協議会(兼学校関係者評価委員会)を行いました。学校からの一学期の学校評価アンケートに基づいた成果と課題、2学期からの学校改善計画などが承認されました。また、学校運営について貴重な意見を委員の方々からいただきました。

次に、3つの部会に分かれ、地域との連携、小中連携の具体的な取組内容を協議しました。主なものを紹介します。



小学校 運営協議会



中学校 運営協議会

部会名	ここが、困った!	アイディアがあるよ!
学習指導 支援部会	<p>子ども達が自分から進んで勉強しない</p> <p>もっと進んで勉強して欲しい。</p>	<p>大人が「勉強しておけば良かった。」と話しに行く。</p> <p>自主的な家庭学習は、小中の発達段階に応じて、積み上げていく。急には無理。</p> <p>小中の授業交流もいいね。</p>
生徒指導 支援部会	<p>ゲームやスマホなど、メディア時間が長い。</p>	<p>うまくメディアとつきあう方法を考える。</p> <p>機会を捉えて、ルール作りと見守りが必要。</p>
特別活動 支援部会	<p>子ども達に地域の魅力を学ばせたい。</p> <p>コロナの感染予防の消毒が大変。</p>	<p>何の内容の講師が必要かきいて欲しい。協力するよ。</p> <p>小学生のトキ学習、人材いるよ。</p> <p>防災士の活躍の場があればいい。</p>

#### 【学習指導支援部会より】 道徳の授業交流をしました!

小中の授業交流ということで、小学校の角地安子教諭が、11月30日(月)に、三崎中学校2年生と、道徳の授業をしました。小中の教材の系統性や中学生の思考の深さ、小学校の授業準備の細やかさなど、小中の教員が、お互いに学ぶ部分が多くありました。授業交流の成果が感じられました。



# 第3回 三崎地区学校運営合同協議会を開催

～ザ・熟議 『三崎の子ども達の教育について考える会』～

【昨年度からの4回目の熟議】

9月17日(木)、「ザ・熟議」を開催しました。「ザ・熟議」は令和元年度から実施しており、兵庫教育大学大学院 教授 日渡 円 氏をコーディネーターとし、昨年度3回実施しました。「ザ・熟議」の過去3回は次のような内容でした。



<b>1回目の協議議題 「三崎の子ども達はどんな特徴をもっているのか？」</b>
・地域、保護者、学校の三者のとらえ方で、共通点と相違点を共有し合った。
<b>2回目の協議議題 「その三崎の子ども達にどんな大人になってほしいか？」</b>
・三者の共通している部分と少しずつ違う部分を話し合い、「地域を大切にする」「思いやりのある子」「夢や志を持つ子」「挑戦する気持ちを持った子」「学力」などつけたい力を出し合った。(それを受けて、今年度の学校教育目標を決めた。)
<b>3回目の協議議題 「三者がそれぞれできることは何か？」</b>
・「〇〇に～して欲しい。」という考え方ではなく、学校としてできること、家庭としてできること、地域としてできることをそれぞれ考え、意識を高めた。

今回の**4回目の協議議題**は「**20年後の三崎町**」でした。

今回初めて**中学生も参加!**

人口は減っていくだろう。

自然がいっぱい。

今よりお年寄りが増えている。

少人数で楽しく暮らそう。

地域の方

地域住民 みんなが主役の町にしたい。

今ある資源を活用して、人を呼び込もう。

保護者

教員



中学生

### 日渡先生からのアドバイス

- ・この子ども達の夢に対してどう地域、保護者、学校が総がかりで取り組むのか、考えてほしい。
- ・人口減少はダメだという価値観を転換し、人口減少はいいことだという発想が必要。



特に全員の気持ちをつかんだのは、中学生の発表でした。「お年寄りに優しい町づくり」「豊かな自然との共生」を目指す視点と願いをこめて発表しました。

参加して下さった方々、どうもありがとうございました。今後の活動に生かしていきます。

### 三崎地区コミュニティ・スクール スローガン

「**み**んなで**さ**かそう**き**らり輝く 笑顔と元気」



◎次回、三崎地区学校運営合同協議会(予定)

2月12日(金)会場:三崎中学校 内容:小中別協議会、全体協議会